

平成20年度事業報告

1. 事業の概況

(1) 研究者育成奨学金支給

2名の公募に対し応募が3名あり、審査の結果2名採択した。
(400,000円)

(2) 国際研究集会補助

2件の公募に対し応募が4件あり、審査の結果1件のみを採択した。
(300,000円)

(3) 学術図書刊行助成

京都大学東南アジア研究所発行学術季刊誌「東南アジア研究」46巻1～3号の刊行助成(230,472円)。

(4) APIフェローシップ運営

平成20年度は第8期来日フェローをインドネシア、マレーシア、タイ、フィリピンの各国より計12名受け入れた。

来日フェロー及び日本フェローの参加により、APIセミナーを平成20年12月19日に京都大学東南アジア研究所にて開催した。

また、平成20年10月4日に日本財団と共催で、国際シンポジウムを浜離宮朝日ホールにて開催した。

さらに、第9期フェローの募集を行い、平成20年10月5日には国内選考会を東京において開催した。日本からは3名のフェローが選考され、平成21年2月28日・3月1日には京都大学東南アジア研究所稲盛財団記念館にてオリエンテーション及び国内ワークショップを開催した。各フェローの活動国は、インドネシア、マレーシア、フィリピン及びタイの予定である。
(20,452,190円)

2. 庶務の概要

(1) 平成20年5月26日 第51回理事会・評議員会を京都大学東南アジア研究所において開催した。平成19年度事業報告及び収支計算書、非常勤職員の勤務時間・休暇に関する規則の制定について審議のうえ、原案どおり承認した。また、理事、評議員及び監事の選任並びに理事長及び常務理事の選出を行った。

(2) 平成20年7月12日 常務理事会を開催し、当財団の新公益法人制度における移行形態について検討の結果、一般財団法人とする旨の決定がなされた。

(3) 平成21年3月31日 第52回理事会・評議員会を京都大学東南アジア研究所において開催した。平成21年度事業計画及び収支予算書並びに新公益法人制度における移行形態を一般財団法人とすることについて審議のうえ、原案どおり承認した。